選択

2025.6月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 テイレシアスの食卓―河井健司
42 大往生考
51 西風
58 新・危機管理のノウハウ
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化

急増する被害に、警察は打つ手なし。弥縫策で立ち上げた広域捜査の専従班も、成果は微々たるもの。複雑化・国際化する犯罪に、警察内も諦めモード。無駄な捜査班を濫造する当局の無能ばかりが浮き彫りに。(110頁)

98 社会・文化●情報カプセル
100 医学研究「西高東低」が顕著に
■東大より「関西」に逸材が多い理由
102 航空自衛隊の辛く厳しい現実
■「練習機墜落」隊員の深まる憂い
104 今なぜ「カラヴァッジョ」なのか―前教皇が愛した「名画」の理由
106 本当に怖い「ドバイ案件」の実態―日本人「出稼ぎ性奴隷」が増加中
108 現代音楽は今「大阪」が熱い―万博「会場外」で名演奏続々
110 日本のサンクチュアリ●シリーズ609 特殊詐欺連合捜査班―看板倒れの「日本版FBI」

経済

60 「不確実性バブル」相場の留意点―ヘッジファンド「次の一手」は何か
62 日本製造業を待つ「最悪シナリオ」
■「関税倒産」続出の現実味
64 KDDIは「楽天買収」へ動くか
■「携帯首位」への遥かな野望
67 連載〈クローズ・アップ〉北尾吉孝(SBIホールディングス会長兼社長)―フジ「乗っ取り」は敗北の雲行き
68 連載〈企業研究〉日本たばこ産業
■医薬撤退「多角化失敗」の代償
72 JA「コメ利権」は一層拡大へ
■選挙向け「小泉茶番劇」の舞台裏
74 経済●情報カプセル
78 連載〈地方金融の研究〉苦小牧信用金庫―無法経営「独裁者」の負の遺産
82 トヨタが秘す「日野」の深刻事情―ダイムラーを欺く「エンジンの闇」
84 日産とホンダに「復縁」の機運―関税危機で「弱者連合」再燃
86 株主提案「否決後」の企業は狙い目―総会シーズンの新たな見所

40年続けて鳴かず飛ばずの医薬事業を塩野義に押し付け。たばこ依存からの脱却は見事に頓挫し、無策経営を露呈した。成長なき半官企業を待つのは、世界各国での巨額訴訟リスク。視界は煙る一方だ。(68頁)

政治

政治とカネ、物価対策、選択的夫婦別姓、皇位継承、全て先送り。頭の中は、延命と選挙のみ。大衆の関心を「コメ」に向かわせ、待ったなしの課題は巧みに隠す。石破も所詮は、ただの政治屋ということ。(48頁)

44 政治●情報カプセル
46 女帝・小池が再び「ジョーカー」に
■国政揺らす「都議選」の荒れ具合
48 石破「先送り政治」の大罪
■与野党談合で重要課題「全放棄」
52 連載〈政界スキャン〉森山と進次郎「コメ政局」の思惑
54 自民党保守派で広がる「分断」―「高市待望論」が起こり得ぬ理由
56 自民党を汚染する「幽霊党員」
■「首相選任」を歪める重大事態

WORLD

3 連載〈巻頭インタビュー〉鷲谷威―南海トラフ「被害想定」に疑念あり
6 ●特別リポート 米国「シン植民地主義」の猛威
―世界地図「激変」の時代再び
12 米国名門大学の「不都合な真実」
■トランプ「ハーバード叩き」の執念
14 仏カトリック学校「性虐待」の泥沼―宗教離れと社会の分断が加速
16 新教皇「反ロシア」の旗幟鮮明
■バチカン外交は「新機軸」に転換
18 WORLD●情報カプセル
22 中露が空前の「反日歴史戦」展開
■プーチンの北方領土「初訪問」も
24 イランは「核協議」で米国に屈するか
■狭まる包囲網と「妥協」の誘惑
28 マレーシアに響く「首相世襲」の足音―アジアの民主主義「後退」が加速
30 プーケットが「黒い楽園」に転落―観光の島を蝕む「犯罪激増」
32 米朝首脳会談に身構える中国―東アジアを揺らす「トランプの一存」
34 台湾政権「親米路線」の限界―広がる「棄台論」に悩む賴清徳
36 米中「関税戦争」は収まらない―トランプ政権「中国潰し」への執着
38 連載〈現代史の言霊〉6月の調印―米ソ「化学兵器廃棄協定」合意(1990年)

金銭での買収。51番目の州に併呑。米国主導でリゾート化――。提案は変われど、本質は領土拡張主義であり、中国・ロシアと同類だ。法治より力の時代の再来。同盟国にも容赦ない、大国の分捕り合戦が始まる。(6頁)

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージズ　朝日新聞社　産経新聞社　など